

クイック

(4318・JASDAQスタンダード)

2013年3月11日

人材サービス事業を中心に業績は堅調

アップデートレポート

モーニングスター(株)
真鍋 浩幸

主要指標 2013/3/6 現在

株 価	273 円
昨 年 来 高 値	290 円 (13/02/05)
昨 年 来 安 値	129 円 (12/01/06)
発行済株式数	19,098,576 株
売 買 単 位	1,000 株
時 価 総 額	5,213 百万円
予 想 配 当 (会 社)	7.0 円
予 想 E P S (ア ナ リ ス ト)	26.18 円
実 績 P B R	2.01 倍

直前のレポート発行日

ベーシック 2012/07/25

雇用環境の改善から業績は回復傾向に

完全失業率が2009年7月の5.5%（過去最悪）をピークに低下傾向へ転じ、有効求人倍率も同7月の0.43倍（過去最低）をボトムに上昇傾向をたどるなか、業績は順調な回復途上にある。12年3月期の連結業績は、売上高が7,742百万円（前年比17.2%増）、営業利益が540百万円（同2.4倍）と、保守的に見ていた会社計画（売上高7,000百万円、営業利益300百万円）を上回り、モーニングスター予想（売上高7,300百万円、営業利益450百万円）も上回って着地した。

13年3月期の連結業績は会社計画を上回る公算がある

13年3月期第2四半期累計（12年4～9月）の連結業績についても、売上高4,334百万円（前年同期比16.8%増）、営業利益632百万円（同47.8%増）と好調。人材サービス事業が売上高2,345百万円（同18.3%増）、営業利益608百万円（同13.0%増）と順調に推移したことに加え、リクルーティング事業が売上高913百万円（同31.9%増）、営業利益234百万円（同2.3倍）と収益が大きく改善したことが大きい。会社側は、13年3月期通期の連結業績について売上高、営業利益は据え置き、経常利益を650百万円から720百万円に増額したが、その後、第3四半期累計（12年4～12月）の経常利益が748百万円（同33.6%増）となったにもかかわらず、通期予想は720百万円で据え置いている。このため、モーニングスターでは、予想経常利益を750百万円から770百万円に引き上げる。14年3月期の連結業績についても、売上高10,400百万円、経常利益900百万円と予想しており、会社側の中期計画を上回ると見ている。

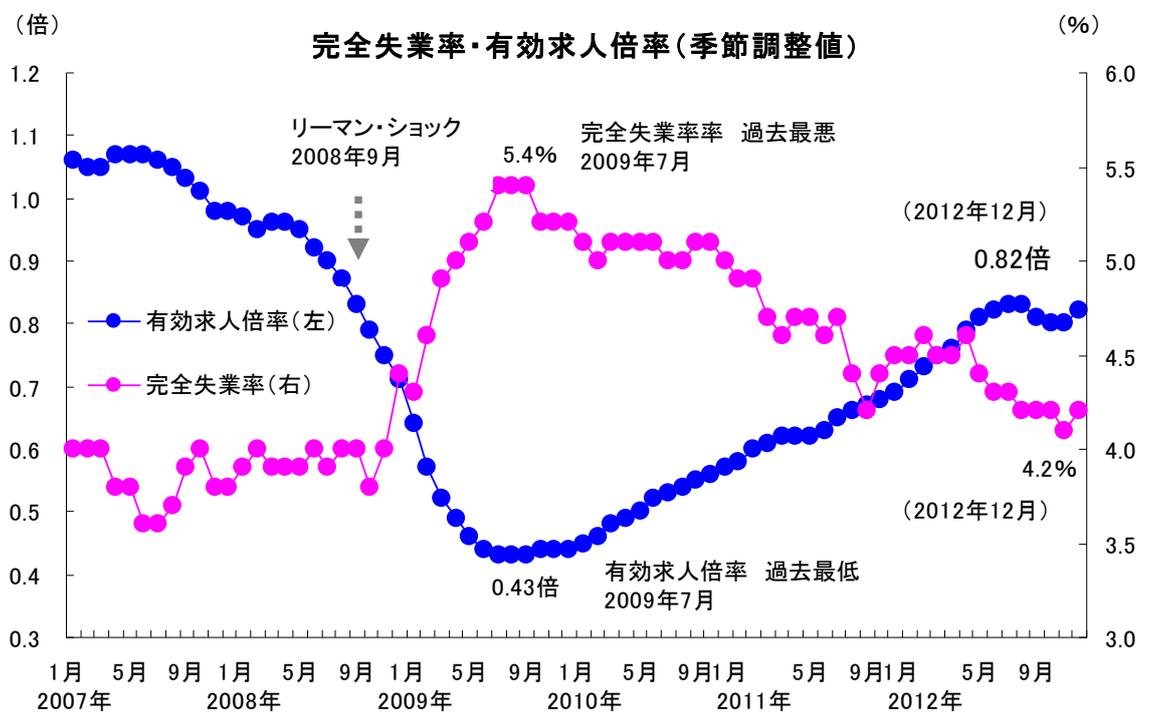
業 績 動 向			売上高 百万円	前期比 %	営業利益 百万円	前期比 %	経常利 益 百万円	前期比 %	当期純利益 百万円	前期比 %	EPS 円
2012/03	3Q(4-12月)	実 績	5,690	16.5	540	2.5倍	560	2.3倍	342	42.1	18.45
2013/03	3Q(4-12月)	実 績	6,526	14.7	645	19.5	748	33.6	448	31.2	24.05
2012/03	通 期	実 績	7,742	17.2	540	2.4倍	571	2.2倍	356	38.3	19.25
2013/03	通 期	新・会社予想 (2012年10月発表)	8,800	13.7	640	18.4	720	26.1	452	26.6	24.20
		旧・会社予想 (2012年4月発表)	8,800	13.7	640	18.4	650	13.8	417	16.8	22.48
		新・アナリスト予想	9,000	16.2	740	37.0	770	34.9	490	37.6	26.18
		旧・アナリスト予想 (2012年7月発表)	9,000	16.2	740	37.0	750	31.3	480	34.8	25.88
2014/03	通 期	新・アナリスト予想	10,400	15.6	890	20.3	900	16.9	580	18.4	30.99
		旧・アナリスト予想 (2012年7月発表)	10,400	15.6	890	20.3	900	16.9	580	18.4	31.27

業績

雇用環境は最悪期を脱出

● 経営環境解説

当社は人材関連ビジネスを展開しており、その業績は雇用環境による影響が大きい。その面で注目されるのが、完全失業率及び有効求人倍率の推移である。下のグラフのように、完全失業率は2009年7月の5.4%（過去最悪）でピークを打ち、2012年11月には4.1%まで低下。有効求人倍率も2009年7月の0.43倍（過去最低）をボトムに、2012年8月には0.83倍まで上昇している。雇用環境が大底を打ったことで当社の業績は最悪期を脱し、急速に浮上している。



(出所)総務省統計局「労働力調査」、厚生労働省「一般職業紹介状況」

(会社資料よりモーニングスター作成)

12年3月期の連結業績は会社計画を上回って着地

● 業績解説 (12年3月期の連結業績について)

12年3月期の連結業績は、売上高が7,742百万円（前年比17.2%増）、営業利益540百万円（同2.4倍）となった。保守的と見ていた会社計画（売上高7,000百万円、営業利益300百万円）を上回り、モーニングスター予想（売上高7,300百万円、営業利益450百万円）も上回って着地した。なお、事業セグメント別の状況は以下の通りである。

業 績

リクルーティング事業は増収・大幅増益と順調

人材サービス事業も大幅増収・増益と収益は回復

情報出版事業は減収減益に

■リクルーティング事業

景気の回復に伴う企業の採用マインドの高まりにより、正社員や派遣社員、アルバイト・パート等の雇用形態にかかわらず、中途採用全般において採用広告の取り扱いが好調。新卒採用商品は、例年よりもサイトオープン時期が遅れたが影響は少なく、業績は順調に推移した。さらに、人材育成のための研修サービス等の商品も堅調に推移し、売上高1,980百万円（前年比33.2%増）、営業利益466百万円（同2.1倍）となった。

■人材サービス事業

「人材紹介事業」では、一般企業対象の人材紹介サービスについては、業績が拡大傾向にある企業や、高い専門性や技術力を必要とする職種における採用ニーズが引き続き高く、業績は順調に推移。看護師紹介については、医療機関からの旺盛な採用ニーズと業界内での高い評価から順調に推移したが、競争が一段と激化し、転職希望者の登録コストも上昇した。

一方、「人材派遣・紹介予定派遣・請負事業」は、東海地域でのIT周辺業務のスタッフ派遣が堅調に推移したほか、北陸及び新潟地域にて医療・福祉分野での人材派遣や紹介予定派遣強化にも取り組んだ。また、東日本大震災からの復興需要への対応に向けた建設・土木分野に注力したが、技術者の獲得に苦戦し、同事業としては回復には至らなかった。ただ、「人材紹介事業」の貢献により、人材サービス事業全体では売上高3,603百万円（前年比22.9%増）、営業利益516百万円（同23.6%増）と、堅調に推移した。

■情報出版事業

情報出版事業としては、主力商品の生活情報誌において、顧客企業からの採用広告及び住宅広告の出稿ニーズが旺盛で、順調に推移。住宅メーカー情報誌「家づくりナビ」も業績が好調だった。生活情報誌では媒体使用感向上を目的にリニューアルを実施したほか、「家づくりナビ」主催のイベント「家ナビセミナー」も開催した。ただ、結婚情報誌をはじめとする、その他のタウン系情報誌が苦戦を強いられ、事業全体としては売上高1,602百万円（前年比3.0%減）、営業利益23百万円（同32.6%減）となった。

■その他（ネット関連事業、海外事業）

「海外事業」はQUICK USA, INC.では、ニューヨークオフィスにおける転職希望者向け無料登録・相談会が奏功し、人材紹介の業績が順調に推移。人材派遣も堅調に推移した。一方、上海クイックマイツ有限公司では、日系企業向けのアドバイザー業務や人事・給与等の制度設計に関する人事コンサルティングが業績を牽引したものの、人材紹介の業績は伸び悩んだ。

業 績

その他部門については、増収で損益も黒字化

他方、「ネット関連事業」では、人事・労務に関する情報ポータルサイト「日本の人事部」のサイトリニューアルを機に広告収入が増加したほか、関連する成功報酬サービスの業績も拡大。「日本の人事部」と連動した企画・サービスである「HR カンファレンス」も順調に成長した。さらに、人材紹介会社の集合サイト「人材バンクネット」でも、成功報酬サービス「サクセスマッチング」の実績が出始め、業績改善に寄与した。これらの結果、その他部門は売上高 556 百万円（前年比 3.4%増）、営業損益は 14 百万円の黒字（前年は 31 百万円の赤字）となった。

【セグメント別業績推移】

	11年3月期	12年3月期	増減率
売上高			
リクルーティング	1,486	1,980	33.2%
人材サービス	2,932	3,603	22.9%
情報出版	1,651	1,602	-3.0%
その他	537	556	3.4%
合計	6,608	7,742	17.2%
セグメント利益			
リクルーティング	221	466	110.6%
人材サービス	417	516	23.6%
情報出版	34	23	-32.6%
その他	-31	14	黒字転換
調整額※	-413	-480	-
合計	228	540	136.6%

※調整額はセグメント間取引消去及び全社費用（会社決算資料よりモーニングスター作成）

業績

リクルーティング事業の業績が大幅な増収増益に

人材サービス事業は第1四半期の業績が大幅に増加

● 業績解説（13年3月期第3四半期累計について）

13年3月期第3四半期累計（12年4～12月）の連結業績は、売上高が6,526百万円（前年同期比14.7%増）、営業利益が645百万円（同19.5%増）となった。下記のセグメント別業績推移に傾向が表れているが、「リクルーティング事業」において、売上高1,695百万円（同25.3%増）、営業利益452百万円（同52.8%増）と大幅に収益が改善した点大きい。正社員や派遣社員、アルバイト・パートなど中途採用全般について採用広告の取り扱いが順調に推移したほか、第3四半期（12年10～12月）にスタートした14年3月卒業予定の大学生を対象とした新卒採用商品も順調なスタートとなった。

一方、「人材サービス事業」は、売上高3,171百万円（同15.3%増）、営業利益472百万円（同11.9%減）となった。看護師紹介が好調に推移した第1四半期（12年4～6月）の営業利益は633百万円となったが、第3四半期（12年10～12月）については登録者獲得のための広告宣伝を意図的に積極化させたため137百万円の営業赤字となった。ただ、第4四半期の収益性は改善方向にあるもようだ。

【連結業績推移】

（単位：百万円）

	12年3月期				13年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	1,960	1,752	1,978	2,052	2,476	1,858	2,192
営業利益	371	57	112	0	647	-15	13
経常利益	381	63	116	11	689	-7	66
純利益	245	36	61	14	408	8	32

（会社決算資料よりモーニングスター作成）

【セグメント別業績推移】

（単位：百万円）

	12年3月期				13年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高							
リクルーティング	325	367	661	627	460	453	782
人材サービス	1,121	861	769	852	1,481	864	826
情報出版	367	395	409	431	399	400	438
その他	146	128	140	142	136	140	145
合計	1,960	1,752	1,978	2,052	2,476	1,858	2,192
セグメント利益							
リクルーティング	35	68	193	170	108	125	219
人材サービス	452	86	-3	-19	633	-24	-137
情報出版	-13	10	17	9	0	1	19
その他	-1	3	14	-2	3	8	5
調整額※	-101	-111	-109	-159	-97	-125	-93
合計	371	57	112	0	647	-15	13

※調整額はセグメント間取引消去及び全社費用

（会社決算資料よりモーニングスター作成）

業績

● 業績予想（13年3月期の連結業績予想について）

13年3月期の連結業績について、会社側では期初、売上高8,800百万円（前年比13.7%増）、営業利益640百万円（同18.4%増）、経常利益650百万円（同13.8%増）と予想していたが、第2四半期累計（12年4～9月）が好調に推移したなか、「リクルーティング事業」における受け取り販売協力金39百万円を営業外収益に計上したこともあり、経常利益の予想だけを720百万円（同26.1%増）に増額した。

13年3月期の業績は会社計画を上回る公算が大

一方、第3四半期累計の経常利益は748百万円と通期予想を超過したが、会社側は予想を修正していない。第3四半期（12年10～12月）に登録者の獲得のため広告宣伝を積極化したことで「人材サービス事業」が135百万円の営業赤字となったことをうけ、保守的に構えたためだ。しかし、第4四半期（13年1～3月）は、繁忙期の1四半期（4～6月）に向けた準備を行いつつ、「人材サービス事業」の赤字幅が縮小方向にあると見られ、「リクルーティング事業」の好調も持続している様子。よって、第4四半期が経常赤字となる公算は小さく、通期は増額の可能性があるようだ。

モーニングスター予想は会社計画を上回る見通しに修正

このため、モーニングスターでは、13年3月期の連結業績について、売上高9,000百万円（前年比16.2%増）、営業利益740百万円（同37.0%増）とする従来予想は据え置いたが、経常利益については750百万円から770百万円（同34.9%増）に増額した。

なお、14年3月期の連結業績についても、モーニングスターでは、売上高10,400百万円、営業利益890百万円と予想しており、会社側の中期計画を上回ると見ている。

【連結業績推移】

（単位：百万円）

	12年3月期	13年3月期 会社予想	13年3月期 モーニングスター予想	14年3月期 会社予想	14年3月期 モーニングスター予想
売上高	7,742	8,800	9,000	10,200	10,400
営業利益	540	640	740	800	890
経常利益	571	720	770	800	900
純利益	356	452	490	500	580
セグメント別売上高					
リクルーティング	1,980	2,214	2,410	2,173	2,500
人材サービス	3,603	4,282	4,280	5,478	5,350
情報出版	1,602	1,747	1,750	1,907	1,900
その他	556	557	560	642	650

※会社予想は中期計画(2012年5月公表)

(会社決算資料よりモーニングスター作成)

クイック [4318/JQ] 週足 2013/03/11



(出所) 株QUICK

上記チャート図の一部又は全部を、方法の如何を問わず、また、有償・無償に関わらず第三者に配布してはいけません。
 上記チャート図に過誤等がある場合でも株QUICK 社及び大阪証券取引所は一切責任を負いません。
 上記チャート図の複製、改変、第三者への再配布を一切行ってはいけません。

			2010/03	2011/03	2012/03	2013/03 予 (アナリスト)
株 価 推 移	株 価 (年 間 高 値)	円	88	171	206	-
	株 価 (年 間 安 値)	円	40	55	91	-
	月 間 平 均 出 来 高	千 株	165	721	246	-
業 績 推 移	売 上 高	百 万 円	6,277	6,608	7,742	9,000
	営 業 利 益	百 万 円	-186	228	540	740
	経 常 利 益	百 万 円	-80	258	571	770
	当 期 純 利 益	百 万 円	-80	258	356	490
	E P S	円	-4.32	13.92	19.25	26.18
	R O E	%	-4.6	14.1	17.2	20.5
貸 借 対 照 表 主 要 項 目	流 動 資 産 合 計	百 万 円	2,039	2,274	2,945	-
	固 定 資 産 合 計	百 万 円	1,084	1,270	1,261	-
	資 産 合 計	百 万 円	3,124	3,544	4,206	-
	流 動 負 債 合 計	百 万 円	1,189	1,375	1,844	-
	固 定 負 債 合 計	百 万 円	213	222	145	-
	負 債 合 計	百 万 円	1,403	1,597	1,989	-
	株 主 資 本 合 計	百 万 円	1,730	1,960	2,224	-
キ ャ ッ シ ュ フ ロ ー 計 算 書 主 要 項 目	純 資 産 合 計	百 万 円	1,721	1,946	2,217	-
	営 業 活 動 に よ る CF	百 万 円	-118	476	821	-
	投 資 活 動 に よ る CF	百 万 円	-46	-124	-191	-
	財 務 活 動 に よ る CF	百 万 円	176	-144	-193	-
	現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 期 末 残 高	百 万 円	1,144	1,345	1,780	-

ディスクレーム

1. 本レポートは、株式会社大阪証券取引所（以下「大証」といいます。）が実施する「JASDAQアナリストレポート・プラットフォーム」を利用して作成されたものであり、大証が作成したものではありません。
2. 本レポートは、本レポートの対象となる企業が、その作成費用を支払うことを約束することにより作成されたものであり、その作成費用は、当該企業が大証に支払った金額に大証からの助成金を加えたうえでモーニングスター株式会社（以下「レポート作成会社」といいます。）に支払われています。
3. 本レポートは、大証によるレビューや承認を受けておりません（ただし、大証が文面上から明らかに誤りがある場合や適当でない場合にレポート作成会社に対して指摘を行うことを妨げるものではありません）。
4. レポート作成会社及び担当アナリストには、この資料に記載された企業との間に本レポートに表示される重大な利益相反以外の重大な利益相反の関係はありません。
5. 本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的として作成されたもので、有価証券の取引及びその他の取引の勧誘又は誘引を目的とするものではありません。有価証券の取引には、相場変動その他の要因により、損失が生じるおそれがあります。また、本レポートの対象となる企業は、投資の知識・経験、財産の状況及び投資目的が異なるすべての投資者の方々に、投資対象として、一律に適合するとは限りません。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、投資者ご自身の判断でなされるようお願いいたします。
6. 本レポート作成にあたり、レポート作成会社は本レポートの対象となる企業との面会等を通じて、当該企業より情報提供を受けておりますが、本レポートに含まれる仮説や結論は当該企業によるものではなく、レポート作成会社の分析及び評価によるものです。また、本レポートの内容はすべて作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
7. 本レポートは、レポート作成会社が信頼できると判断した情報に基づき記載されていますが、大証及びレポート作成会社は、本レポートの記載内容が真実かつ正確であり、そのうちに重要な事項の記載が欠けていないことやこの資料に記載された企業の発行する有価証券の価値を保証又は承認するものではありません。本レポート及び本レポートに含まれる情報は、いかなる目的で使用される場合におきましても、投資者の判断と責任において使用されるべきものであり、本レポート及び本レポートに含まれる情報の使用による結果について、大証及びレポート作成会社は何ら責任を負うものではありません。
8. 本レポートの著作権は、レポート作成会社に帰属しますが、レポート作成会社は、本レポートの著作権を大証に独占的に利用許諾しております。そのため本レポートの情報について、大証の承諾を得ずに複製、販売、使用、公表及び配布を行うことは法律で禁じられています。

＜指標の説明について＞

本レポートに記載の指標に関する説明は、大阪証券取引所ウェブサイトに掲載されております。

参照 URL ⇒ <http://www.ose.or.jp/jasdaq/5578>